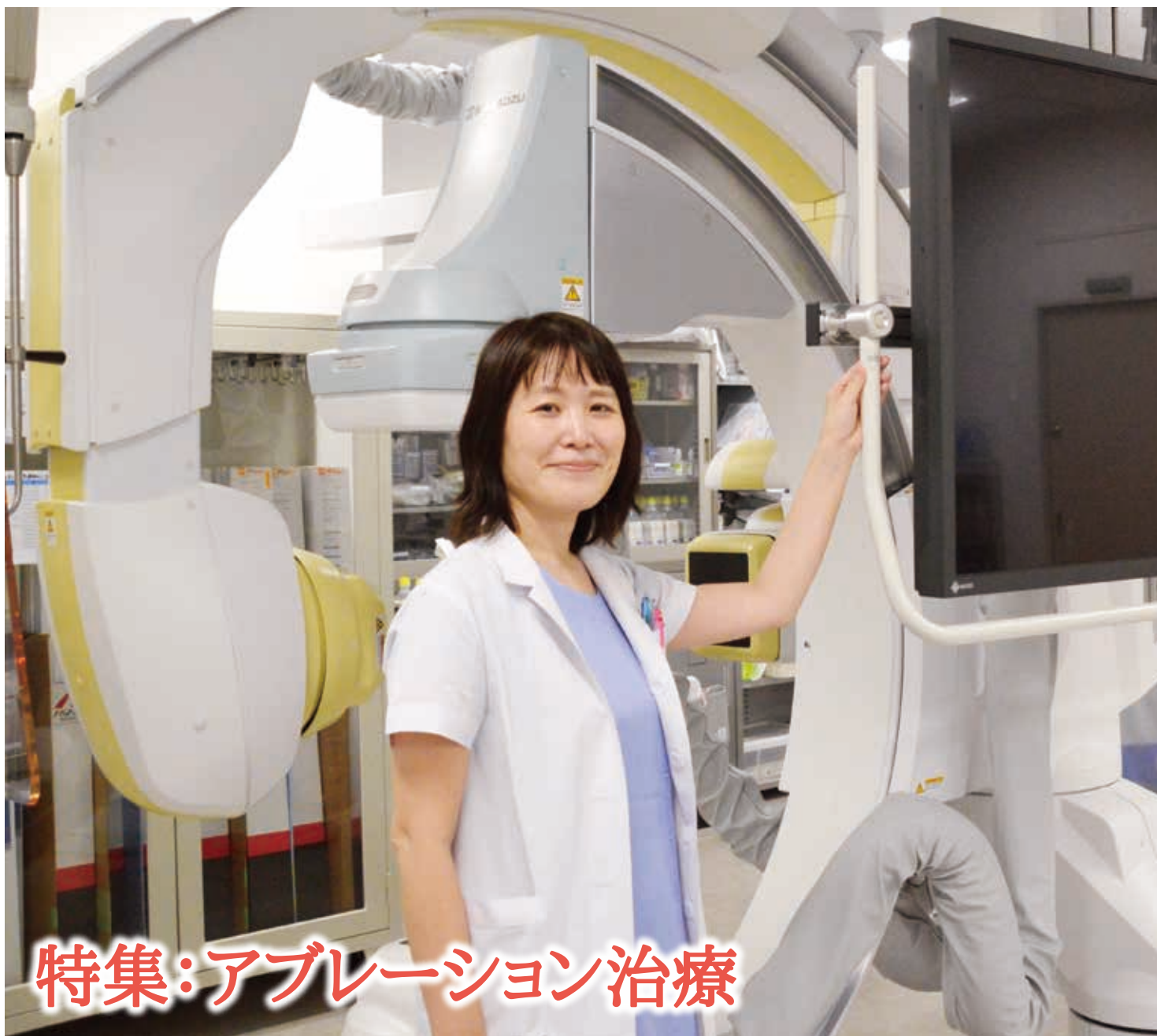


こうち+クロス

高知赤十字病院
広報誌

ご自由に
お持ち帰りください



特集：アブレーション治療

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からないこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力をお願いいたします。

アブレーション100例達成しました!!



この度、当院でのアブレーション100例目を達成することができました。かかりつけ医の先生方におかれましては、いつも大切な患者様をご紹介いただき厚く御礼申し上げます。これからも患者様や先生方の思いに報いるよう、丁寧で安全な診療を続けていきたいと思っております。また、高知大学総合診療部北村聡子先生、当院麻酔・集中治療部をはじめ院内の先生方、看護師さん、コメディカルスタッフの皆様にはいつも多大なご協力をいただいております、その素晴らしいチームプレイ、プロ意識に深く感謝いたします。今後も当院及び地域の不整脈診療の進展に貢献していく所存ですので今後ともよろしくお願いいたします。



不整脈外来のご案内

不整脈とひとくくりに言われますが、脈が早い、遅い、飛ぶ、走る、ドキドキする・・・色々な症状があると思います。気になる脈の症状や心電図があれば気兼ねなくご相談ください。

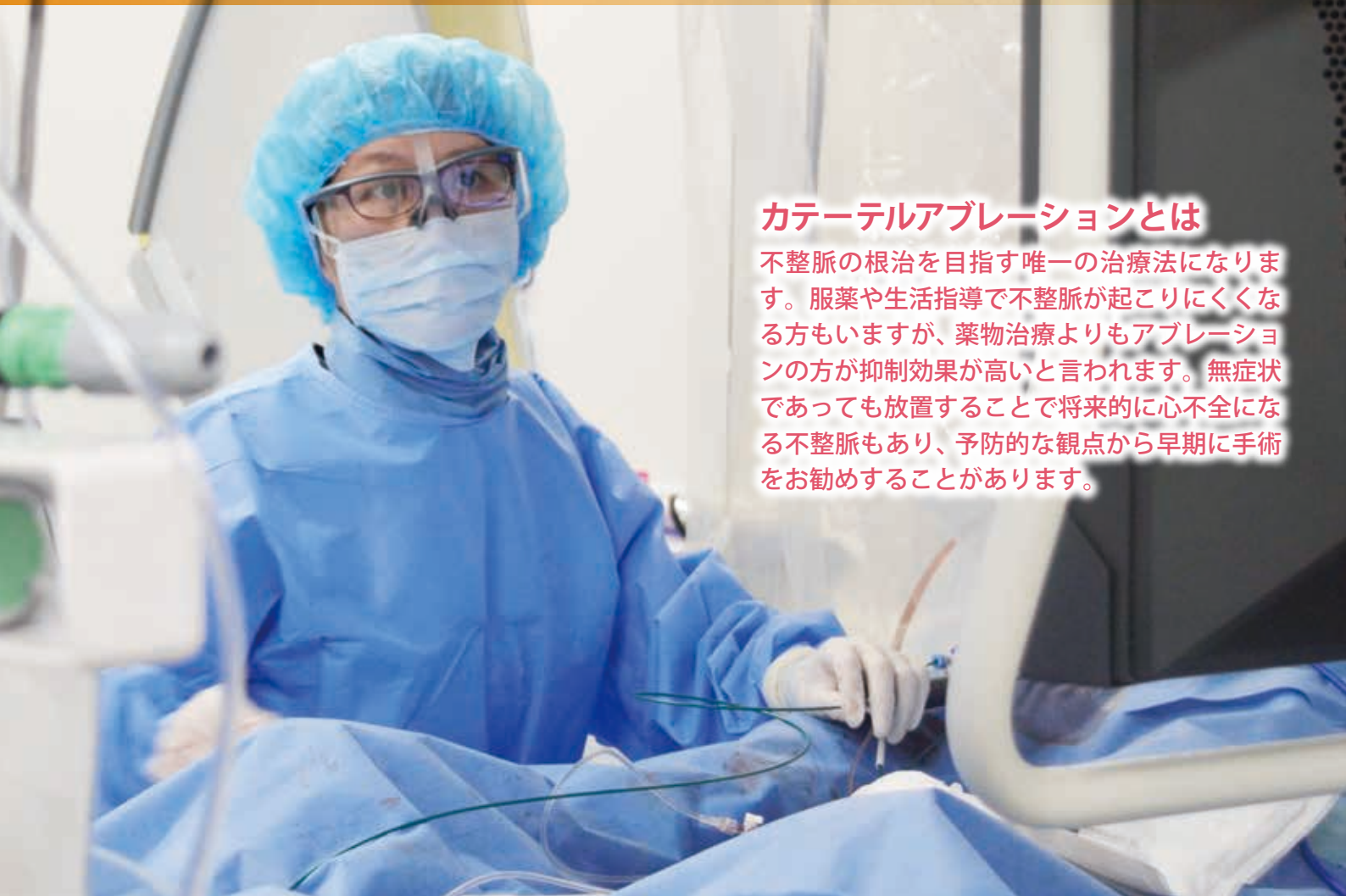
不整脈外来は毎週木曜日午後から予約制で行ってます。

患者さま一人一人に合った治療や生活指導を提案させていただきますので、お気軽にお越しください。

不整脈外来
ホームページ
詳しくはこちら
から



アブレーション治療のご案内



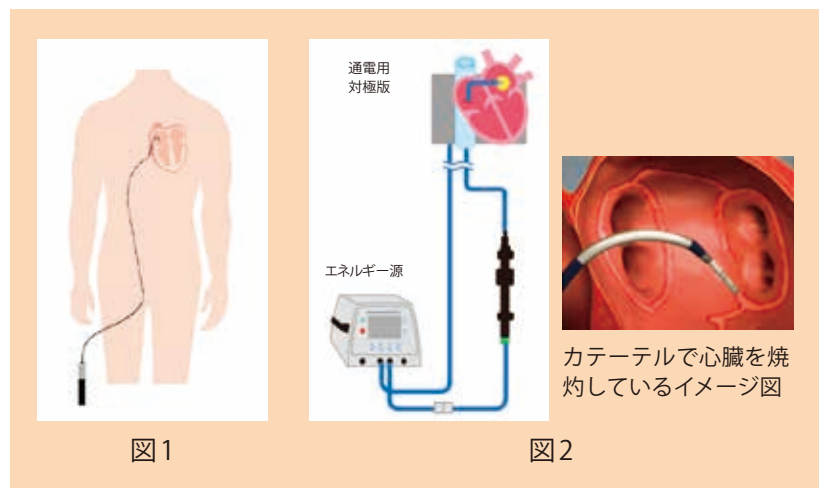
カテーテルアブレーションとは

不整脈の根治を目指す唯一の治療法になります。服薬や生活指導で不整脈が起こりにくなる方もいますが、薬物治療よりもアブレーションの方が抑制効果が高いと言われます。無症状であっても放置することで将来的に心不全になる不整脈もあり、予防的な観点から早期に手術をお勧めすることがあります。

治療の方法

切ったりする治療ではなく、足の付け根や首の血管(静脈)から心臓に数ミリの太さの細長い管(カテーテル)を数本挿入して行うカテーテル治療です(図1)。

カテーテルの先端には金属がついており、高周波というエネルギーを出すことで、4-5mm程度の小さなやけどの痕を作ります。不整脈の原因となっている心筋の限られた場所や回路を焼灼することで不整脈が維持されにくくなるような治療です(図2)。終了後、カテーテルはすべて抜去しますので、体内には何も残りません。



当院のカテーテルアブレーションの特徴

心房細動のアブレーション治療に関しては、全国的にも珍しく、麻酔科医師による全身麻酔下により行っています。専門の医師による麻酔のため術中の痛みがなく、眠っている間に終わって楽でした、との患者さんの声が聞かれます。術後は集中治療室で、一晩、管理させていただきます。医師、看護師が近くにいますのでご安心いただけたらと考えています。また、イベントレコーダーという長時間心電図検査を導入しております。最大1週間の記録ができ、低頻度の不整脈の検出に有用です。小さくてコードレス、シャワー浴も可能であるためご好評をいただいております。



『ドクター オブ ドクターズ ネットワーク[®]』の 優秀専門臨床医[™]に認定されました



脳神経外科 溝渕 佳史

徳島大学病院で20年間、脳腫瘍と機能脳神経外科の手術を行ってきたことを評価していただき光栄に思います。生まれ故郷の高知で今まで教えられた技術、知識を高知赤十字病院での医療に活かしていきたいと思えます。



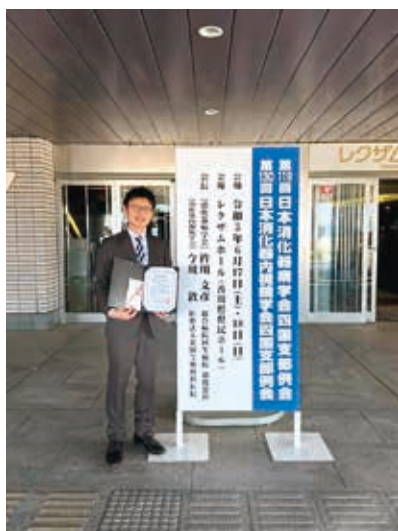
優秀専門臨床医[™]とは、ティーパック株式会社が提供するサービス『ドクター オブ ドクターズ ネットワーク[®]』の特別顧問および評議員が、推薦基準(※1)を満たした医師を推薦。選考基準(※2)に基づき、選考された医師のみが優秀専門臨床医[™]として認定されています。

※1 推薦基準

- *特別顧問・評議員本人もしくは、家族が入院や手術が必要となった場合に、お願いしたいと思えること。
- *患者からも医師からも信頼がおける高いレベルの専門性を有すること。
- *人間味豊かで患者の立場に立った治療を行えること。
- *現役の臨床医であること。

※2 選考基準

- *ドクター オブ ドクターズ ネットワーク[®]の各評議員会(関東評議員会、関西評議員会、東海評議員会、北海道評議員会、東北評議員会、九州評議員会、中四国評議員会等)において特別顧問・評議員全会一致で選考。
- *特別顧問・評議員一人でも反対があった場合は選考されない。



今回香川県で開催された日本消化器内視鏡学会四国支部例会にて研修医優秀演題賞を受賞いたしました。

このような光栄な賞をいただいたのは指導医の先生をはじめ、今回の発表研究参加者の皆様のおかげと思っています。ありがとうございます。

私が発表した演題内容は症例ではなく、デバイスの研究・検討についてでしたので医学用語よりも技術系用語が多く、短い時間で研究内容を上手く伝えることが重要でした。スライドは動画や画像を駆使し伝わりやすいようレイアウトを構成しました。

研修医優秀演題賞を 受賞しました

研修医 鈴木 龍哉

実際に行われた実証実験に参加することはできなかったのですが、消化器内視鏡分野における医療の発展に貢献することができると可能性を感じさせる大変面白いものですので、今後の研究にも大変興味が湧いている状況です。

人生初の学会発表であり、会場も想像の5倍広かったため、緊張でもあまり覚えていないのが正直なところですが、このような貴重な経験をさせていただけたことは今後の医師人生において大きな糧になると確信しています。

今後とも精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



2023年度看護師自治会による 「新人看護師歓迎会」を開催しました

今年度、看護部に37名の新人看護師さんが来てくれました。
4月～5月は集合研修ばかりで、まだまだ緊張が解けない6月…、
看護師自治会による新人看護師歓迎会が開催されました。
会の様子をご報告します♡

☆☆☆
新人看護師全員に
自己紹介を
してもらいました

☆☆☆
プリセプターさん
からの励ましの
メッセージも

☆☆
部署紹介が
行われました

☆☆
看護部ではこれからも全力で1人ひとりの
『こうなりたい!!』の実現をサポートしていきます!!

心不全療養指導士の活動紹介

8階西病棟 濱田 里和

心不全療養指導士とは、日本循環器学会認定の資格であり、心不全療養指導士は2021年春から開始となっています。

心不全患者が急増している現状を踏まえ、心不全の発症・重症化予防のための療養指導に従事する医療専門職が、病院から在宅、地域医療まで幅広く心不全患者をサポートすることを目的にしています。

2023年現在5198名が在籍しています。高知県では63名が在籍しており、当院でも6名が活動しています。

8西病棟に5名が在籍しており、当院も参加している高知県心不全連携の会で作成した、心不全連携手帳を使用し指導を行っています。連携手帳には、「心不全とは」「薬剤指導」「栄養指導」「運動指導」「生活での注意点」などが記載されており、個々に沿って個別性を重視した心不全指導を心がけています。また、病棟看護師の誰でもが心不全指導ができるように、看護師へ向けて勉強会を行ったりし

ています。毎週木曜日には心不全カンファレンスを行い、医師・看護師・コメディカルが参加して心不全患者の治療方針や生活指導などの情報共有を行っています。今年度から心不全療養指導士が行う勉強会をオンデマンド形式で行っています。6月に行われた勉強会では院内外合わせて約60名の参加があり、県外からも参加していただきました。

現在は6名しか在籍していませんが、今後は多職種の方にも資格を取得していただき、もっともっと質の高い心不全指導を行っていきたいと思います。また、他病棟に入院中の心不全患者の相談や指導についても相談していただきたいです。



野崎Ns 濱田Ns 中山Ns 西内Ns

ふれあい看護体験



8月10日木曜日、
県内の高校生を
迎え、ふれあい看護体
験を開催しました。
ふれあい看護体
験とは、高校生が看
護体験を通して看
護についての理解と関心を深め、
ひとりでも多くの高校生が看護
師をはじめ医療の道に進んでく
れることを願って開催されるイベ
ントで、高知県健康政策部からの
要請で高知県看護協会が企画・運
営を行っているものです。ここ数
年はコロナの影響で受け入れで
きていません
でしたが、今
年度は2年ぶ



波の真つ只中、面会制限のため患
者さんとのふれあいはありません
でしたが、病棟の看護師、助産師、
手術室看護師にご協力いただいで
看護の魅力を存分に伝えることが
できたと思っています。高校生の
皆さんからは『今まで参加した看
護体験の中で、一番リアルを感じ
た』との嬉しい意見をいただいで、
参加した看護師や助産師も一緒に
楽しめた半日となりました。

りに開催すること
になりました。
台風の中の開催
だったのでJRが
運休したり、心配
や不安がありつつ
も、高知市内だけ
でなく遠くは嶺北
地区や四万十市か
ら10名もの高校生
が参加してくれま
した。コロナ第9



CAFE CROSS

★ 研修医一年目のご紹介 ★

RESIDENT INFORMATION



はしぐち みさと
橋口 真里 (高知大学卒)

医師を志したきっかけは?

叔母が流産やいとこの死で悲しむ姿をみて、子どもながらにどうかしてあげたいと思っていました。やっと授かった子も超低出生体重児で一時は厳しいかと思われたのですが、今は中学生になり私の身長を追い越しました。私も人の命を救う仕事に携わりたいと思うようになりました。

これが好き♡



ポストカードを集めるのが趣味で、旅先の景色や好きなクリエイターのポストカードを激選して、部屋の壁に飾っています。研修医室の机にもそろそろ飾ろうかなと思っています。



私、スゴイんです♪

これといって自慢できることはないのですが、少しだけドイツ語がしゃべれます。幼い頃にグリム童話を読み聞かせてもらったのが好きだったので、原文で読みたいと思ったのがきっかけで、高校生のときほんのちょっと勉強していました。

研修への意気込みをひとこと★

不慣れな点も多く皆さんにご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、一日でも早く仕事を覚えて少しでもお役に立てるようにがんばりたいです。たくさんのごことを吸収して、早く一人前の医者になりたいと思っています。よろしくお願い致します。



こんどう みずき
近藤 瑞希 (高知大学卒)

医師を志したきっかけは?

幼い頃喘息があり、頻回に通院しているうちに、病気を治すことのできる医師という存在に憧れ、志すようになりました。

これが好き♡



花が好きなので、春は桜や菜の花、夏は紫陽花やひまわり、と季節ごとにお花を見に行ってお癒されています。カフェでのんびりすることも好きなので、おすすめのカフェがあればぜひ教えてください!

私、スゴイんです♪

中高6年間、吹奏楽部でフルートをしていました。マーチングもしている学校だったので、毎日朝から晩まで練習に打ち込み、大会に出場していました。テレビで笑ってコラえての「吹奏楽の旅」を見ると、当時を思い出して涙腺がゆるんでしまいます(笑)。



研修への意気込みをひとこと★

至らぬ点が多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、一日でも早く皆様のお役に立てるよう努力し、成長したいと思っています。今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。



NST(栄養サポートチーム)活動について

管理栄養士 川竹 千佳

当院のNST(栄養サポートチーム)の活動は、多科の医師が積極的にTNT(医師のための臨床栄養に関する生涯教育コース)医師の資格を取得し、チーム活動を支援しています。当院の3つのチームをご紹介します。

当院では、管理栄養士だけでは栄養の調整が難しい患者さんが多くいます。このような場合は、消化器内科の医師と、看護師・薬剤師・管理栄養士が全科チームとして担当し活動を行っています。最近ではICU・救命センターの患者さんの相談を受ける事もあります。

嚥下チームは、耳鼻咽喉科の医師を中心に摂食嚥下認定看護師、言語聴覚士も参加しています。嚥下内視鏡検査を行う患者さんを対象とし、食事形態や栄養の投与経路が適切かどうかをチームで検討しています。

褥瘡チームは、形成外科の医師を中心に皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC)も参加し低栄養や食事摂取不足などからなる褥瘡がある患者さんを対象とし活動を行っています。

このように専門のチームがあることで、医師や摂食嚥下認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC)、言語聴覚士などから専門的な話を聞くことができ栄養管理をする上で学ぶことが多いカンファレンスとなっています。

各チームにおいては、栄養状態の改善、経口摂取への移行、褥瘡の治癒など課題は沢山ありますが、今後もNSTチームは患者さんのQOL改善、入院期間短縮などを目標にチーム活動を続けていこうと思います。



全科チーム



嚥下チーム



褥瘡チーム

チーム	令和3年度	令和4年度	令和5年度 4月~7月
全科チーム	55件	12件	11件
嚥下チーム	54件	10件	12件
褥瘡チーム	0件	7件	15件

*令和3年度:褥瘡チームは休止令和4年8月より再開
*令和4年度:コロナウイルス感染症により病棟への入室制限や耳鼻咽喉科の検査制限があり件数は減少

新入職員紹介

(令和5年6月2日~令和5年7月31日)

氏名
所属・職種
趣味・特技
抱負



三木 景賀
事務 健診部

● 食べることに、旅行。
● 精一杯頑張ります！よろしくお
願います。

人事のお知らせ

(令和5年6月2日~令和5年7月31日)

【採用】
令和5年7月1日
事務職(健診部) 三木 景賀

【退職】
令和5年6月24日
看護助手(6階西病棟) 鍋島沙弥香

令和5年6月29日
看護師(ICU) 岡村 祐志

令和5年6月30日
医師(心臓血管外科) 市川 洋一

薬剤師(薬剤部) 松田 泰欽

看護師(8階西病棟) 高島 紗奈

看護師(5階東病棟) 大黒 春佳

看護師(6階東病棟) 立石 真知
臨床検査技師(検査部) 鎌田 真美
令和5年7月14日
看護師(5階西病棟) 明智美佐子
令和5年7月31日
看護師(ブロック外来) 西浦 愛

高知赤十字病院
ホームページ



高知赤十字病院
Facebook



よろしければ
フォロワー登録
お願いします



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201(代表))

